

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 4月 21日
住 所 狭山市青柳194-1
県内企業等の名称 株式会社埼玉成光
代表者役職 氏名 代表取締役 松尾和彦

株式会社埼玉成光 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

株式会社埼玉成光は、昭和48年の創業以来、地域社会の安全・安心・発展を経営理念としており、この考え方は、持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものである為、従業員一人が誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	環境保護の推進として、見積書等の電子化・積極的なPDFの活用・社内書類の裏紙再利用等による紙の消費量の削減や電気使用量の削減に取り組む。 <(現状値)2022年の数値> ①コピー用紙使用枚数;37,000枚/年 ②電気使用量:12,500kwh/年	<2030年に向けた指標> ①25,900枚/年 ②9,500kwh/年 <取組開始3年後に向けた指標> ①33,300枚/年 ②11,000kwh/年
社会	社員参加型貢献活動の推進として、地域の皆様が安全に暮らしていける街づくりの為に、彩の国ロードサポート活動に参加している。 <(現状値)2022年の数値> 参加回数:2回/年 延べ5人参加	<2030年に向けた指標> 4回/年 延べ20人参加 <取組開始3年後に向けた指標> 3回/年 延べ12人参加
経済	多様な働き方の推進として、働きがいのある職場環境づくりの実現に向け有給休暇取得率の向上を図る。 <(現状値)2022年の数値> 平均有給休暇取得日数:8日/年	<2030年に向けた指標> 12日/年 <取組開始3年後に向けた指標> 11日/年

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。